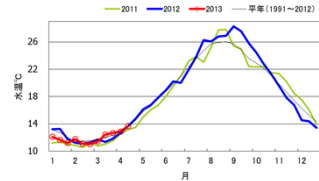




鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

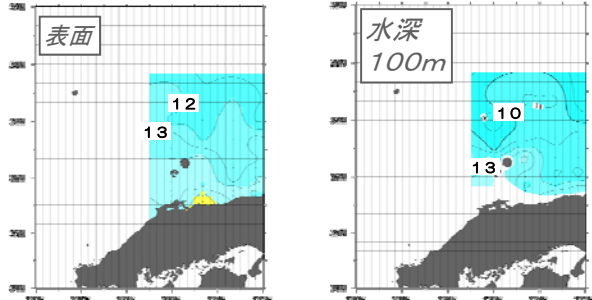
4月中旬 13.6℃

平年並み



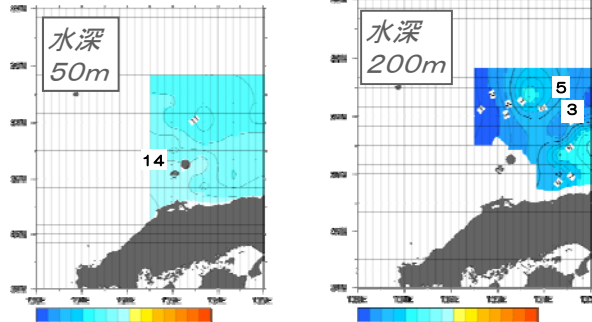
発行 鳥取県水産試験場 (電話:0859-45-4500)

試験船による海洋観測結果 (4月中旬)



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は13℃前後で先月より1℃弱上昇しました。

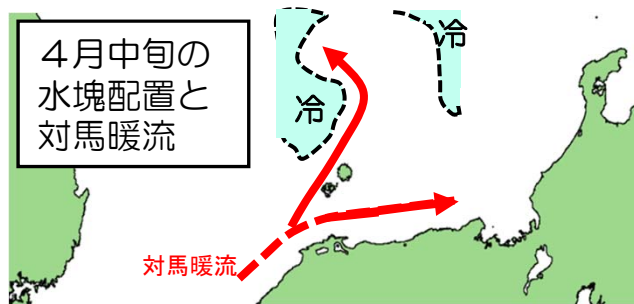
鳥取県沖と隠岐海峡周辺海域は13℃前後で先月より1℃弱上昇しました。



隠岐海峡周辺海域は10℃前後で、先月とほぼ同値でした。

但馬沖の暖水塊が先月に引き続き停滞しています。隠岐北方の暖水塊が先月に比べ発達しています。

4月中旬の水塊配置と対馬暖流



- 島根沖冷水の沿岸への張り出し：島根沖冷水は先月より勢力が弱まり、隠岐東方海域にかけて暖水塊が広がっています。
- 沖合の対馬暖流：対馬暖流は島根沖から隠岐海峡を通過する流れと隠岐北方海域から北へ向かう流れに分枝しています。

*フェリー「おき」による隠岐海峡の水温情報や県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=72009>に詳しく掲載しています、ぜひご利用ください。

水産試験場

境港産マイワシの脂のりについて(途中結果)

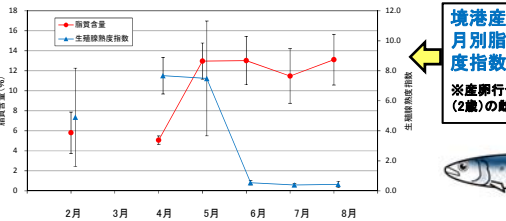
○水産試験場では、境港産のマイワシの特徴を知り、ブランド化やPRをするために、脂のりの季節変動を調査しています。(調査期間H24～25年度)

○H24年2～9月(3月を除く)のマイワシ(120尾)について脂を抽出測定した結果は、次のとおりでした。

- ①脂のりは最小約1～最大17%と幅がある。
- ②産卵を終え生殖腺が小さくなった、6(5)月～8月に脂が高くなった。(下図)
- ③太平洋のマイワシでは脂のりが3月頃に最低となり、6～7月にかけて最高になると報告されており、ほぼ同様の結果であった。

○25年度はサンプリングしたその他の月マイワシの脂を抽出測定します。

○脂のりが10%以上あると多くの人が美味しいと感じられることから、これから獲れるマイワシは旬と言えますので是非ご賞味ください。



境港産マイワシ(H24年)の月別脂質含有率と生殖腺成熟度指数
※産卵終了と考えられる体長18cm以上(2歳)の雌

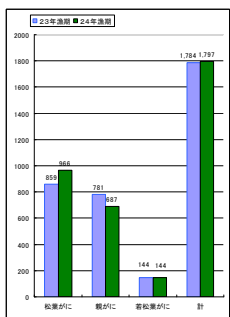
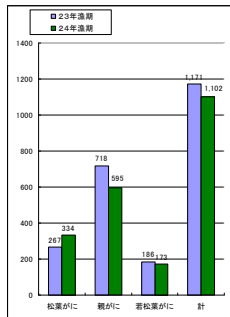


★水産課からの情報★

<平成24年漁期 スワイガニ漁の水揚げ報告>

平成24年漁期(H24.11.6～H25.3.20)は、沖合及び網漁船27隻(田後漁船10、鳥取県漁協網代支所11、鳥取県漁協本所(買船)6)が操業しました。

(水揚げ量) 前年比に比べ、水揚げ量は、松葉がには増加し、(水揚げ金額) 前年比に比べ、水揚げ金額は、松葉がには上回り、若松がには前年並み、網がには下回った。
平均単価は、前年を上回り1,631円/kgであった。



<水産物流通改革・消費拡大チャレンジ支援事業募集のお知らせ>

○産地と小売との直接取引や、消費者への直販、学校給食への水産物の供給など、水産関係者による水産物の流通改革や、消費拡大を目指すモデル的な取組に対して支援を行います。

【事業概要】

対象事業	付加価値向上が期待でき、既存の水産物流通を改革し、産地(他)消の拡大にチャレンジする先進的・モデル的活動。インターネット活用を含む産地直送、販路開拓、消費者への魚食提案、直接販売、産地と小売店・飲食店との直接取引、魅力的な加工品づくり、地域ブランド創出支援、給食事業、鮮度向上などの新たな取り組み。
事業主体	漁業者、漁業協同組合、加工業者、流通業者またはそれらをメンバーに含む任意団体 ※過去に水産物流通チャレンジ支援事業を利用した者は対象外
補助率	1/2 (事業費上限額2,000千円)

○募集期間：平成25年5月7日(火)～平成25年5月31日(金)まで

【問い合わせ先】鳥取県水産課(0857-26-7316)

<★平成25年度とどリンフェスタのお知らせ★>

平成23年に開催した全国豊かな海づくり大会の記念イベントとして昨年度から「とどリンフェスタ」を開催しています。今年度も県内各地で放流イベント等を計画しておりますので皆さんぜひご参加ください。

【イベント計画】

- 八雲川でのアユの放流 (5月10日)
八頭町後丸で八雲小学校の児童が稚魚を放流。
- 日野川(黒坂)でのアユの放流 (5月8日)
黒坂カワコ公園で根高保育所の園児が稚魚を放流。
- 田後港おかちゃんの手毬戯(仮) (5月25日)
ヒラメの記念放流、お魚ターゲットールを実施予定。

■今月の漁業許可証更新情報

- 中型まき網【もじゃこまき網(許可期限 H24.6.1-H25.5.31)】
- 小型まき網【もじゃこまき網(許可期限 H22.6.1-H25.5.31)】
- かつら網(許可期限 H22.5.1-H25.4.30)

■遊漁船登録業者の皆様へ...遊漁船登録に保険期間等の変更があった時は、変更申請をお忘れなく

平成25年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

◎ 共和水産株式会社

代表取締役会長 相田 仁

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL 0859-44-7171 (代) FAX 0859-42-6530

栽培漁業センター

マサバ陸上養殖試験の知事報告と試食会を開催しました。

昨年度から開始したマサバの陸上養殖試験について知事に報告すると共に、育てたサバの試食会を開催しました。当日はわずか30分のごとでしたが、多くの報道も集まり、注目の高さがうかがえました。



首都圏、関西にも打って出られると知事も絶賛!!

本試験は、波浪が厳しく、湾の少ない鳥取県でも養殖が展開できるように、陸上で地下水を用いて飼育しています。周年安定した水温の地下水はマサバの飼育に適しており、昨年5月に生まれた魚は今では大きいもので500gを超える成長を見えています。今後は飼育密度や歩留りの向上などについて試験を行い、一年でも早く、採算性のある養殖にしたいと考えています。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136

電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424

境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330